

日本語はなぜ連体修飾を多用するのか。

—中国語との比較を通じて—

専修大学特任教授・東京大学名誉教授

楊凱榮

1. はじめに

本発表は主として連体修飾節における日本語と中国語の違いを考察するものである。

1.1 「内の関係」(動詞と被修飾名詞との間に格関係がある)

- ①「が」格：さんまを焼く[男] → 烤秋刀鱼的[男人]
②「を」格：君がその時聞いた[足音] → 你听到的[脚步声]
③「に」格：私がプレゼントをした[先生] → 我送礼的[老师]
④「で」格：私たちが食事をする[場所] → 我们吃饭的[地方]
⑤「と」格：彼女が結婚した[相手] → 她结婚的[对象]
⑥「の」格：子供が怪我をした[人] / [山田さん] → 孩子受伤的[人] / ? [山田]

1.2 「外の関係」(動詞と被修飾名詞との間に格関係がない)

- ⑦清少納言と紫式部が会った[事実](寺村 1992) → 清少纳言与紫式部会面的[事实]
⑧さんまを焼く[匂い](寺村 1992) → 烤秋刀鱼的[味道]
⑨タバコを買った[お釣り](寺村 1992) → ? 买香烟的[找头] / 买香烟时找回的[钱]
⑩帝王切開した[傷跡] → ? 剖腹产的[伤疤] / 剖腹产时的[伤疤] / 剖腹产时留下的[伤疤]
⑪頭ノヨクナル[本] (寺村 1992) → a 看了[这本书]以后脑子会变聪明的。
?b 看了以后脑子会变聪明的[书]。
c [这本书]看了以后脑子会变聪明的。

1.3 ほかの関係

- ⑫本を読む時間ありますか。 → 你有看书的[时间]吗? / 你有[时间]看书吗?

「内の関係」の場合、上の例文を見ると、中国語は一見して対応できるように見えるが、実際に前後の文脈により、制限を受けることがある。

「外の関係」の場合、対応するものと対応しないものがある。

全体として、日本語の連体修飾節の使用に対し、中国語では少なくとも以下の4つのパターンがある。①「連体修飾タイプ」、②「連動文タイプ」、③「文頭に現れるタイプ」、④「二つのイベントで対応するタイプ」。

これまでの研究の多くは、このような「底の名詞」が内の関係か外の関係か、またどのような名詞が底の名詞に転出できるかに関心があった。日本語では主なものに寺村秀夫(1992)のほかに、金水敏(1986)阿部泰明(1994)、松本善子(2007)、大島資生(2010a)などがあるが、中国語では主なものに古川裕(1989)、原由起子(1991)、山田留里子(1999)、益岡隆志(1994、1995、2009)、楊凱榮(2001)などがある。一方、日中対照研究には孫海英(2009)、

堀江薫・パルデシ (2009)、楊凱榮 (2011、2018)、下地早智子 (2013) などがある。

1.4 本発表のねらい

本発表ではまずこのような日本語と中国語の連体修飾における成立可否の違いを考える。一方、一般的に中国語と比べて日本語のほうが連体修飾の形式をとりやすいと言われてい。しかし、その理由については必ずしもまだ十分に解明されてはいない。本発表ではこれまでの研究を踏まえた上で、日本語になぜこのような傾向があるのか、その原因はどこにあるのかを明らかにすると同時に、文法構造や認知、機能の面から説明を試みる。

2. 中国語の連体修飾節と非連体修飾節の違い

2.1 日本語は連体修飾しかないが、中国語では2種類の構文で対応する。

日本語は連体修飾節、中国語は以下の二種類のタイプで対応

- ①連動文タイプ「“有”+N+V」
- ②連体修飾タイプ「“有”+V+“的”+N」

(1) a 你有**东西**吃吗?

b 你有吃的**东西**吗?

c 食べるものあるか/食べ物あるか。

(2) a 我现在没有**时间**学习。

b 我现在没有学习的**时间**。

c 今勉強する**時間**がない。

「底の名詞」と動詞との意味関係について、(1)と(2)では異なる。(1b)は動作と対象、(2b)では“时间”は“学习”のためのものであり、対象ではない。

2.2 「連動文タイプ」と「連体修飾タイプ」の違い

「連動文タイプ」は所有・存在を表す構文であり、動詞“有”を用いて、名詞を新規導入して、その説明を行う。英語の不定詞(I have no time to study)に相当するものである。実際に所有・存在の事物として、具象名詞であろうと、抽象名詞であろうとどちらとも共起が可能である。

「連体修飾タイプ」は名詞を修飾し、その外延を縮小し、特定していくために用いられる。事物名詞として抽象的で、用途が広い“东西”、“时间”、“钱”、“机会”などがこのタイプに用いられ、対比の意味が生じやすい。

2.3 連体修飾になりにくい名詞

用途が決まっていて、限定修飾を受けなくても、なんのためにあるのか分かるような、“椅子”、“飯”といった**具象名詞**などは成立しにくい。

- (3)?a 没有坐的椅子。
b 没有椅子坐。
座る椅子がない。
c 没有你坐的椅子。
あなたの座る椅子がない。

- (4)?a 现在没有看的书。
b 现在没有书看。
今読む本がない。
c 现在没有想看的书。
今読みたい本がない。

- (5)?a 没有吃的饭。
b 没有饭吃。
(食べる) ご飯がない。
c 没有你吃的饭。
あなたの食べるご飯はない。

具象名詞は区別のための連体修飾がないと成立しない。

2.4 所有格の場合

中国語は「内の関係」のうち、所有格の場合、人称代名詞は連体修飾になりにくい。

- (6) a 子供が怪我をした山田さん
?b 孩子受了伤的山田
?c 受了伤的孩子的山田
d 儿子上大学的家长请举手。下地早智子 (2013)

- (7) a 服を子供に汚された私が子供を叱った。
?b 衣服被孩子弄脏了的我骂了孩子几句。
c 衣服被孩子弄脏了以后我就骂了孩子几句。
d 衣服被孩子弄脏了的人可以在这儿换衣服。(区別と対比の用法)

2.5 「外の関係」の場合、「底の名詞」と動詞との関係によって決まる。

A 「底の名詞」と命題との関係 ⇒ 内容。

风声, 想法, 愿望, 可能, 可能性, 梦想

中国語には「名詞が文頭に現れるタイプ」(先に名詞で内容をまとめ後に内容を続ける)と「連体修飾タイプ」がある。

- (8) 私は叔父が市の方に妾を有っているという噂を聞きました。(中日対訳コーパス)
a 我听说叔叔在市里纳了妾。(中日対訳コーパス)
?b 我听到叔父在镇上还蓄有一个小老婆的风声。

- c 我听到一个[风声]，说是叔父在镇上还蓄有一个小老婆。
d [谣传]叔叔在市里纳了妾。
- (9) 我签那么多名，却从来都不知道对方的名字，所以我希望你们今天能达成我一个[愿望]，就是你们所有爱我的人，一个人一页，把你们的名儿签上去，写上去，好让我在以后翻起这个的时候能想起你们……CCL
- (10) 李敖说他寫來控訴當年國民黨白色恐怖的書，除了政治以外，還有內心深處長期的[愿望]，就是發揮中文的修辭特色。CCL
- (11) 喜助にだって、それと同じ愛情を[可能性]はある。(中日対訳コーパス)
a 她对喜助也[可能]怀有这样深挚的爱情。(助動詞)
b 她对喜助也有怀有这样深挚的爱情的[可能性]。
- (12) 如果课业负担过重，就有[可能]造成疲劳过度、失眠或神经衰弱，影响整个身体的发育成长。CCL (助動詞)
- (13) a 存在性问题，即一个国家的经济是否存在着一种长期增长的[可能性]? CCL
b 稳定性问题，即一个国家的经济是否存在着一种稳定增长的[可能性]? CCL
- (14) 喜助は、越前一带では、樹木の植え時は梅雨あけの頃としている[風習]を知っていた。(中日対訳コーパス)
a 喜助了解越前这一带地区的[风俗习惯]—植树选在出梅的时候进行。
?b 喜助了解越前这一带地区植树选在出梅的时候进行的[风俗习惯]。
- (15)?a 我有一个[想法]考研。
b 我有一个考研的[想法]。
c 我有一个[想法]就是想考研。
d 我想考研。
- (16) 这次的哲学导论课，我有一个[想法]，就是把各种哲学—西方哲学、中国哲学、印度哲学—放在同一个平台上来加以比较。 CCL
- (17) 私は将来起業をしたいという[夢]を持っています。
a 我有一个将来自己创业的[梦想]。
b 我有一个梦想，将来创业
c 我有一个[梦想]，现在在大学好好学习，将来自己创业。
?d 我有一个现在在大学好好学习，将来自己创业的[梦想]。
文法上連体修飾節を取ることも可能であるが、連体修飾長ければ長いほど難しい。
- (18) a 警察はあの二人が喫茶店で逢っている[事実]を掴んだ。
?b 警察掌握了一个[事实]他们俩在咖啡厅见面了。
c 警察掌握了他们俩在咖啡厅见面的[事实]。

B 底の名詞⇒結果

- 1) 動作と結果の関係が動作時間の前後に基づく場合、中国語でも「連体修飾タイプ」を取ることができる。

味道, 经历, 伤疤, 成就, 结果

- (19) a サンマを焼く[匂い]。
b 有一股烤秋刀鱼的[味道]。
*c 有一股[味道]烤秋刀鱼。
- (20) a 外国に留学した[経験]がない。
*b 他没有[经历]出国留学。
c 他没有出国留学的[经历]。
- (21) a 他身上留下很多被子弹打过的[伤疤]。(参照: 他给自己留下很多思考问题的[时间]。)
*b 他身上留下很多[伤疤]被子弹打过。(参照: 他给自己留下很多[时间]思考问题。)
c 体に銃弾で撃たれた[傷跡]がたくさん残っている。
- (22) a 这是我们经过努力后所取得的[成就]。
?b 这是我们的[成就]经过努力后所取得。
c これは我々が努力して勝ち取った成果である。
- (23) 但是, 由于在传统社会家父是家产代理人的惟一候选人, 他的财产代理权是不可剥夺的, 因此出现对权力的滥用是一个不可避免的[结果]。
- (24) 因此, 没有人愿意抛弃已经取得的[成果]到异国他乡谋生。CCL
2) 日本語では連体修飾節は一つのイベント、中国語では二つのイベントとして対応する必要がある。
- (25) タバコを買った[お釣り](寺村秀夫 1992)
a ?买香烟的找头(上海語)
b 买香烟时找(回来)的[钱]
- (26) 帝王切開した[傷跡]
?a 剖腹产的[伤疤]
b 剖腹产时的伤疤
c 剖腹产时留下的[伤疤]
- (25)、(26)の日本語の連体修飾節は一つのイベント、中国語は二つのイベント。
- (27) 小指と薬指の谷間に、なにかが刺さっていた。今更になって痛みに気付いた修作は、慌ててそれを抜いた。抜いた[傷跡]から、鉄臭い血が流れ出す。
- (28) ソ連軍重戦車のキャタピラーに挟られた[傷跡]は、そこここに消すべくもない。
- (29) 他身上不仅有世界大战时留下的弹片, 还有几次大手术留下的[伤疤], 也有驻留在体内的心房纤颤、动脉瘤、脑血栓、白内障等多种疾病。
3) 日本語でも一つのイベントとしてくり切れない場合がある。
- (30) ?a 夫婦喧嘩した[傷跡]
b 夫婦喧嘩したときの[傷跡]
c 夫妻打架时留下的[伤疤]。
- (31) *a ボクシングした[傷跡]

- b ボクシングしたときの傷跡
?c 打拳击的伤疤。

d 打拳击时留下的伤疤。

同じ底名詞である「傷跡」は文脈によっては成立しにくいものもある。ICM (理想認知モデル) や百科辞書的知識で説明可能であろう。松本善子(2007)は認知に基づくフレーム意味論と語用論的な見地が日本語の連体修飾構造の意味理解に決定的な役割を果たすと指摘し、益岡隆志(2009)は文法論の限界を示したうえで、語用論までを射程にとらえる必要があると提案している。中国語では行為と結果の関係をより明確に示す必要がある。

C 修飾成分と被修飾成分がより緩やかな関係

神澤(2012)は以下のような例を提示し、日本語には主要部と修飾部の関係の拡張を抑制する言語的要素がなく、修飾部のイベントの行為主体と行為対象の明示的な区別をしない傾向にあると指摘している。

i イベントセッティング型連体修飾節

(32) a 突然の別れを告げられる空はとても悲しかった。

b 突然告别时的天空看上去也很悲伤。

(33) a 試験に落ちた過去はもう忘れましょう。

?b 快把名落孙山的过去忘掉吧。

ii イベント原因型連体修飾節

(34) a こんなにも〔息が上がる〕山を登ったのは久しぶりだ。

b 好久没爬这么让人气喘吁吁的山了。

(35) a こんなに〔泣ける〕映画だとは思わなかった。

b 没想到这个电影这么让人感动。

c 没想到这是一部这么让人感动的电影

iii イベント随伴現象型連体修飾節

(36) a 〔彼女が喜ぶ〕仕草がかわいい。

?b 她高兴的动作很可爱。

c 她高兴时的动作很可爱。

(37) a 〔高いグラスを落とした〕動揺がまだ残っている。

b 把贵重的玻璃杯打落在地上时沮丧的心情还持续着。

日本語は中国語と比べて、動詞と「底の名詞」の意味関係がより緩やかである。したがって、中国語は何かを補わなければ、直接に連体修飾の形をとることができない。

3. “的”の機能

3.1 “的”の有無の違い

“的”の限定区分機能：“的”の主な機能は修飾される事物の内包を拡大し、外延を縮小していくこと。次のミニマム・ペアで“的”の有無によって生じる違いは“的”の持つこのような

機能を端的に表している。

限定区分もしくは描写に用いられる。(陆炳甫 2000)。

(1) a 白衬衫

b 白的衬衫

(2) a 我父亲

b 我的父亲

(3)?a 坐的椅子

b 老师坐的椅子。

数量詞の場合

(4) a 三本书

?b 三本的书

(5) a 三箱书

b 三箱的书

(6) a 看了三个小时录像。(動作の時間)

b 看了三个小时的录像。(事物としての“录像”に関わる情報(一種の属性))

(7) a 听了 30 分钟录音。

b 听了 30 分钟的录音。 加納希美 (2013) 属性用法、時量属性

(8)?a 他只花了 40 分钟走完了一个小时路。

b 他只花了 40 分钟走完了一个小时的[□]路。

3.2 両方の形で表せるが、意味が異なる

「連体修飾タイプ」と「連動文タイプ」の違い

(9) a 我有一个弟弟在美国留学。

b 我有一个在美国留学的弟弟。

アメリカに留学している弟がいる。

日本語は連体修飾節、中国語ではそれぞれ「連動文タイプ」と「連体修飾タイプ」が用いられている。「連動文タイプ」は新規の人物「弟」を“一个”(一人)で導入するため。「連体修飾タイプ」は対比と区別の意味が出やすい。以下は両者の違いを反映する例文。

(10) a 我看到一个[□]钱包掉在地上。

?b 我看到一个掉在地上的[□]钱包。

財布が落ちているのを見た。

落ちている財布を見た。

(11)?a 我捡到一个[□]钱包忘在车厢里了。

車内に忘れられた財布を拾った。

財布が車内に忘れられたのを拾った。

b 我捡到一个忘在了车厢里的[□]钱包。

- c 我在车厢里捡到一个钱包。
- (12) a 我看见一个老外在跳广场舞。
?b 我看见一个在跳广场舞的老外。
外人が広場ダンスをしているのを見かけた。
広場でダンスをしている外人を見かけた。
c 我看见一个在跳广场舞的老外突然晕倒了。
広場でダンスをしていた外人が突然倒れたのを見かけた。
- (13) a 后面有几个人哭起来了。(刘月华等 2001)
?b 后面有几个哭起来的人。
後ろで泣き出した人が何人かいる。
- (14) a 警察打死了一只正在民宅后院找食物的狗熊。
*b 警察打死了一只狗熊正在民宅后院找食物。(新規導入ではない)。
警察は民家の裏庭で食べ物を探している熊を殺した。
- (15) a 警察发现了一只狗熊正在民宅后院找食物。
b 警察发现了一只狗熊正在民宅后院找食物。
警察が民家の裏庭で食べ物を探している熊を発見した。

4. 連体修飾節になりやすい日本語となりにくい中国語

4.1 数字に見る日中両言語の違い

中国語と比べて日本語では連体修飾節が多く用いられるが、Wang, Horie and Pardeshi (2009) では『キッチン』、『こころ』の日本語の連体修飾節を中国語に訳した時の割合を調べた結果、中国語では半分あるいはそれ以下に減ってしまうのに対し、中国語の小説《AQ 正传》、《活着》の連体修飾節を日本語に訳した時は概ね忠実に訳されているという面白い結果を得ている。

孙海英 (2009) ではこのような統計的な数字こそないものの、日本語の連体修飾節が中国語の連体修飾節にならない例について考察を行っている。これらの研究では「底の名詞」には普通名詞も含まれているが、もし、「底の名詞」を人称代名詞に限定すると、中国語の連体修飾節の割合がさらに減少するはずである。

発表者が中日対訳コーパスにおける人称代名詞が「底の名詞」として用いられる連体修飾節を調べた結果、その割合はさらに低いことが分かった。楊凱榮 (2011)

【表 1】

日本語用例	中国語訳用例	割合
連体修飾節	連体修飾節	
227 例	35 例	6.5%

中国語でも連体修飾ができないわけではない。歌のタイトル“同桌的你”。ただし、話し言

葉ではあまり使われない。

(1)?a 我不喜欢那样的你。

b 我不喜欢你那样。

そういう君が好きだ。

(2) a 我不喜欢你抽烟。

?b 我不喜欢抽烟的你。

煙草をすう君が嫌いだ。

君が煙草を吸うから嫌いだ。

(3) 座席をゆずる君の優しさに胸高鳴らせるマドンナがいる可能性もある。(京王線車内広告)

(4) 足を組んで坐らないスマートな君の仕草が女の子の間でウワサかも (同上)

(5) 荷物を棚にあげる君を見て、「ステキッ」と声をあげる胸キュン少女がいるはずだ。(同)
中国語ではなぜ人称代名詞が連体修飾を受けにくいのか、それについてはこれまでもいくつかの指摘があった。

贺阳(2008)はこの現象について、本来連体修飾を受けない人称代名詞は「五四前后」(1919年)になって、書面語において発展し、広まったといい、今日に至っても多くの学者からは認められていないとしたうえで、旧白話小説 1000 万字を検索し、合計 19 例あり、それが例外であるとし、《北京话口语语料库》95 万字を検索した結果、1 例もないという。上のような数字から見ても、連体修飾を受ける人称代名詞は日本語では多く見られるが、中国語では少ないということが言える。

4.2 論理関係の背景化とその動機付け

人名のような固有名詞は指示対象が一定、連体修飾では限定されない。(益岡隆志 1995)。人称代名詞が連体修飾節を受ける場合、非限定的用法である。中国語と日本語は同様であり、限定的であるかどうかは中国語の人称代名詞が連体修飾節を避ける理由にはならない。にもかかわらず、中国語における人称代名詞に対する連体修飾は日本語のそれと比べて明らかに頻度が低く、制限がきびしい。

(6) 立止まった私は、隣寸箱の隙間に花紙を詰めて音を消した。(中日対訳コーパス)

我收住脚向火柴盒中塞进一张软纸，响声立即消失了。(同上)

(7) 私は愕いた。田舎の荒っぽい環境で育った私は、この種のやさしさを知らなかった。(同上)

我不由感到愕然。自幼生长在乡村粗野的环境，我还从未感受过这样的温情。(同上)

(8) 寺に生まれた彼は、常に精進という言葉を使いました。(同上)

他出生寺院，常把‘精进’一词挂在嘴边。(同上)

(9) それで彼はとうとう帰ることになった。折角来た私は一人取り残された。(同上)

因此他终于回去了。这样一来，我特意赶到这里，反倒成了孤单单的一个人了。(同上)

連体修飾節と主節との関係は連用修飾節と主節との関係と比べて、構造としてより「軽い」位置づけに見える(大島資生 2010b)。

孙海英(2009)は益岡隆志(1995)を踏まえ、連体修飾節と主節の意味の結びつきに注目し、連体修飾節と主節の関係が時間的継起、原因などの場合は中国語に訳しにくい、付帯的狀況であれば訳しやすいと指摘している。しかし、なぜそうであるのかについては詳しい分析と十分な説明はない。

上の例文では日本語の連体修飾節は連用修飾節に戻せば、それぞれ時間的継起、原因、逆接と見なすことが可能であり、原因、継起、逆接の意味を表す形式を補うことができる。

(6') 私_私は立止まり、燐寸箱の隙間に花紙を詰めて音を消した。[継起]

(7') 私は愕いた。私_私は田舎の荒っぽい環境で育ったので、この種のやさしさを知らなかった。[原因]

(8') 彼は寺に生まれたので、常に精進という言葉を使いました。[原因]

(9') 私_私は折角来たのに、一人取り残された。[逆接]

(6)-(9)と(6')-(9')は知的な意味は同様であるが、継起、原因、逆接といった論理関係がはっきり表れるかどうかという点では異なる。

また、談話展開型の連体節は日本語学習者が産出しにくい(増田真理子 2001)

(10) a 子どもがいたずらをした。怒った親_{怒った親}は子どもをしかった。

?b 孩子淘气，生气的家长_{家长}骂了孩子一顿。

c 孩子淘气，家长_{家长}很生气，骂了孩子一顿。

日本語は連体修飾節を取る傾向がより強いのは日本語が論理関係を明示するのが好まない言語であることと関係している。

連体修飾節を用いることによって、本来行為としてのイベント(非主要述語)は背景化され、動作主がどんな状態かもしくはどんな様子であるのかを説明する付加的な情報としてとらえられる。本来論理関係で結ばれる二つのイベントのうち、連用修飾節を連体修飾節にすることによって、論理関係が形式上は解除され、被主要述語の動作性が弱くなり、連体修飾節が修飾される名詞のもつ属性のように振舞うことになり、主語が動作らしい述語を一つだけ取ればすむことになる。

4.3 日中の主語や人称代名詞に関する制限の違い

日本語では文の展開のしかたとして、二つ以上のイベントと関係する場合、以下のように図式化できる。

(11) A : S+VP₁+VP₂

B : VP₁+S+VP₂

A タイプ : VP₁の活用の選択と、接続助詞の選択が必要

B タイプ : VP₂のテンス・アスペクトの選択のみ。(これに関しては7.1で述べる。)

もう一つ、「が」と「は」の選択により、主文の動作は誰がするか。

(12) 彼は服を脱いだのに、何でハンガーにかけなかったの？

(13) 彼が服を脱いだのに、何でハンガーにかけなかったの？

(14) 服を脱いだ彼は (それを) ハンガーにかけた。

(15) 服を脱いだ彼が (それを) ハンガーにかけた。

また、日中両言語の人称代名詞のもつ特性の違いもある。

中国語の人称代名詞が他の成分による連体修飾を受け付けない傾向が日本語に比べて強いと言える。中国語の主語が常に定のものであるのと無関係ではない。

(16) a 他在房间里。彼は部屋にいるよ。

*b 房间里有他。部屋に彼がいるよ。

情報構造からみれば、文の中に現れる位置に関する制限は日本語が中国語より緩やかであることが言える。似たような現象が数量詞との共起においても見られる。

(17) a 我踢了一次门。

ドアを 1 回蹴った。

?b 我踢了门一次。

c 我一次门也没踢。

1 回もドアを蹴っていない。

(18)?a 我踢了一次他。

b 我踢了他一次。

彼を 1 回蹴った。

?c 一次他也没踢。

1 回も彼を蹴っていない。

5. 連体修飾を受ける中国語の人称代名詞の特徴

発表者が CCL (PKU) コーパスから集めた例文の中にも実際に孙海英 (上掲) が指摘したような、主節と原因や時間的継起的関係にあると思われる連体修飾節も見られた。

(1) 但被死亡搞得筋疲力尽的他已无力去死，或是懒得去死，这时就需要我的帮助了。

(余华)

(2) 于是刚刚坐下的我，被老师从座位里叫了出来。(余华)

以上の 2 例では連体修飾節をそれぞれ原因と時間的継起を表す連用修飾節として取ることも可能である。

(3) 但他被死亡搞得筋疲力尽，已无力去死，或是懒得去死，这时就需要我的帮助了。

(原因)

(4) 于是，我刚刚坐下，(就)被老师从座位里叫了出来。(時間的継起)

2 例とも余华の小説に現れ、個人の好みの傾向によるものかもしれない。

日本語では場面転換の眼前描写は中国語に直訳しにくいだが、場面維持の眼前描写には中国語に直訳できる (孙海英上掲)。中国語では人物を修飾する連体修飾節は、人物の新規

導入のほかに、多くの場合は先行文脈の人物をトラッキング (tracking) し、ストーリーの叙述に役立つその人物の背景情報を提供する機能をもつ (陶红印 2002)。

中国語の人称代名詞が連体修飾節を受けるのはこうした人物についての情報提供や描写もしくは追跡のような場合に限られ、日本語よりも制限がきびしいということが言える。

中国語の人称代名詞が連体修飾節を受ける場合、意味上主節の述語と関連性がないだけでなく、構造上連用修飾節に変換させることができないものが多く含まれているということである。

発表者が CCL のコーパスで調べた結果、作家により比較的によく用いる者とそうでない者との差があることが分かった。例えば老舍、王蒙、巴金、陈建功ではそれぞれ 2、3 例しか見つからず、王朔も 10 例に満たない。ところが、余华の小説では 60 例ほど見つまっている。作家同士の文体の好みに違いがあることが分かる¹⁷。

- (5) 倒是金秀跟妹妹嘀嘀咕咕的那些话，引得坐在厅里的他心生疑惑。(陈建功)
- (6) 我母亲怀抱还在哭叫的我咚咚地走向了我们的茅屋。(余华)
- (7) 她老是先想到山，水，战场，而后才看到在她的想象中的他——一个英俊的，武装的，青年。
(老舍)
- (8) 苏宇站在那里朝走去的我挥挥手，然后转过身去慢慢地走远。(余华)
- (9) 连长转过身来，看到了站在后面的我，就提着手枪走过来，把枪口顶着我的胸膛，对我说：
(余华)

よく見ると、これらの例では一見して「底の名詞」が連体修飾節と「内の関係」にあるが、構造的に連用修飾節に還元することができない。いずれも「底の名」に関する背景説明や描写するための連体修飾節。人物についての情報提供や追跡といった談話論的な要請から来るものである。実際に中国語の人称代名詞が連体修飾節を用いる動機付けの一つ。方梅 (2008) もこのような背景の情報提供を行う中国語の連体修飾節について触れている。

6. 視点に関する制限の違い

- (1) a 突然そう訊かれた私は、さても柏木らしからぬ質問だと思った。(中日対訳コーパス)
b 这突然的一问，根本不象从前的柏木的脾气。

以下の (2) では連体修飾節の「訊く」ことと主節の「～と思う」ことはそれぞれ異なる動作主である。両方の動作主を同時に表示すると、次のようになる。

- (2) a 柏木が私に突然そう訊いたが、私はさても柏木らしからぬ質問だと思った。
b 柏木突然问我，我觉得根本不象从前的柏木的脾气。

日本語では一つの文に話者を含めた複数の主語が存在する場合、主語を一つに統一し、自分よりの視点を置くことが要求される。日本語には視点の一貫性や発話当事者の視点ハイアラーキー (empathy hierarchy) があるという (久野暁 1978)。

日本語では話者を含めない場合でも、視点の一貫性を貫く傾向にある。中国語にはこのような視点制約がなく、二つの主語を交互に出現させてもよい。

- (3) a 扉が閉まります。閉まる[扉]にご注意ください。
?b (要) 关门了。请注意关的[门]。
c [扉]が閉まりますから、ご注意ください。
- (4)?a 子供がいたずらをした。怒った[親]が子供をしかった。
b 孩子淘气，生气的[家长]骂了孩子一顿。
c 孩子淘气，[家长]很生气，骂了孩子一顿。
- (5) a 食べたい人は手を挙げてください。
b 想吃的[人]举手。
c [谁]想吃[谁]举手。
『北風と太陽』に見られる主語の現われ方に関しても同じことが言える。
- (6) a 旅人の服を剥がした[方]を勝者にする事が決まった。(『北風と太陽』)
b 谁能使行人脱下衣服，[谁]就胜利。(『北风与太阳』)
このような違いは動詞による連体修飾節のみならず、次のような能動文と受動文を同時に持つ複文においても同様の現象が見られる。
- (7) a 飲めといわれて素直に飲んだ。
b [他(們)/你(們)]让我喝，我就老老实实在地喝了。
- (8) a ([私]は) 沈先生に発表しろと言われて来ました。
b 沈老师让[我]发表，[我]就来了。
- (9) 銃撃戦と言われても覚えがなかった[青豆]は図書館を訪れて新聞のバックナンバーを読み返し、それが世間を震撼させる大事件だったことを知る。『上級日本語教材 日本が分かる、日本語が分かる』田中祐輔編著
日本語では主語を一つにし、受動文と能動文の形で、視点の一貫性を保つ。中国語では二つの主語と二つの能動文、視点の一貫性を保つ必要はない。
このような視点の一貫性や発話当事者による制限の現象は多くの慣用表現にも現れ、表現形式として「立場指向」か「事実志向」かの違いである(水谷信子 1985)。
- (10) a 食うか食われるか。
b [你]死[我]活(你吃我，我吃你)
- (11) a 抜きつ抜かれつ。
b [你]追[我]赶。
- (12) a 持ちつ持たれつ。
b [你]帮[我]，我帮你。(互相帮助)

7 文末述語形式回避の意味

7. 1 時間性の背景化

朱德熙(1985)は中国語の特徴として“汉语的动词和形容词无论做谓语还是主宾语，都是一个样子。”“动词和动词结构不管在哪里出现，形式完全一样。”定形(finite verb)と不定形

(infinite verb) の違いはないという。

(1) a 他开飞机。

He flies a plane.

b 开飞机容易。

To flies a plane is easy

flying a plane is easy

日本語では文末形式はモダリティをも表している。それに対して、連体修飾節は論理関係を示さなくてすむだけでなく、動詞の活用やテンス・アスペクトの選択にも影響を与える。連用修飾節が用いられる場合、論理関係に基づいて接続詞を選び、動詞の活用まで決めなければならないのに対し、連体修飾節を受ける場合はその必要がなくなり、ほぼテンス・アスペクトの選択のみで済む。場合によってはテンス・アスペクトもそれほど意味を成さなくなり、テンス・アスペクトからの解放となる。

(2) a 人民币紙幣を積み上げる中国の銀行員 (朝日新聞 2010/06/20)

?b 中国の銀行員が人民币紙幣を積み上げる。

c 中国の銀行員が人民币紙幣を積み上げている。

(3) a 黙々と食べる二人 (テレビの字幕)

?b 二人が黙々と食べる。

c 二人が黙々と食べている。

(4) a 今日赤のネクタイを締めている彼は結構目立つね。

b 今日赤のネクタイを締めた彼は結構目立つね。

(5) a 彼は今日赤のネクタイを締めた。

b 彼は今日赤のネクタイを締めている。

上原聡(1999)は「プロセス概念」か「もの概念」かの違いとして捉えている。プロセス概念は動詞を名詞化する「もの概念」化した時に背景化され、同時に時間も背景化される。このアスペクトの解放もこのような時間性が背景化された結果であると言える。

7.2 出来事概念化の違い

日本語では本来述語形式であれば、何らかの主観的なモダリティの表明につながるが、連体修飾節を用い、出来事を概念化し、名詞化していくことによって話者自らの主張や認定を差し控え、より事実に沿った客観的な叙述になる。

電車の中吊り広告、新聞のキャプション、週刊誌のタイトルなどの表現意図がこのような連体修飾形式にもっとも合致する。

(6) 文学と気象を語る予報士 石井和子さん (朝日新聞)

(7) 車内に閉じ込められたタクシー強盗 (MSN ホームページ 10.7.10)

(8) 日中共同声明書を交換する田中角栄首相 (左) と周恩来首相

(9) 民族舞踊を踊り、田中角栄首相ら一行を歓迎する少女たち。「ネット写真キャプション」

一方、中国語は述語形式を用いるのが普通である。

- (10) 两名昆剧演员正在抚琴吟唱。
 (11) 美国总统布什和俄罗斯总理普京在交谈。
 (12) 法国总统萨科齐挥手致意。
 (13) 日本首相夫人福田贵代和美国总统夫人劳拉在开幕式上。

中国語では日本語と違い、連体修飾節ではなく、述語形式が用いられている。日本語には動詞活用がある。日本語の活用形とムードについて、基本形や過去形は確言のムードを担うとし、そして確言形、概言形、命令形が言い切りのムードを表すとし、「彼ハ力ガ強イ」と「強イ男」における違いとして、前者は話し手の断定、後者はそうではないという（寺村秀夫 1984）。

日本語では文末形式は出来事を表すと同時に、話し手の何らかの主観的態度（モダリティ）を表すものである。広告やタイトルなどの表現意図から考えれば、その出来事の事実をありのままに伝えるのが最大のねらいであり、文末形式を用いて、話者の主観的な態度を示す必要はない。それを避けるために連体修飾節を取り、それによって主観的なコメントを差し控え、出来事の客観性を最大化する効果が発揮されることになる。

中国語は日本語と違い、形式変化に乏しい言語であり、動詞自体に形態変化がないため文末形式であろうと、連体修飾であろうと、形は変わらない。文末形式であっても、客観的な出来事を表し、出来事を概念として名詞化することができる。したがって、わざわざ連体修飾節の形にしなくても出来事を概念化し、名詞化することができる。

上)

【表 2】

	中国語	日本語
文末述語と連体修飾節	同一形式	異なる形式
出来事概念化	同一形式	異なる形式

日本語の連体修飾節は出来事を概念化すると同時にモダリティ表明の回避のための手段としても用いられる。このような形式が多用されるのは広告や新聞のキャプションなどのほかに書名なども挙げられよう。次にあげる書名も両者の選好の傾向を示している。

- (14) 『「NO」と言える日本』
 (15) 《中国人说不》
 (16) a 《中国不高兴》
 b 『不機嫌な中国』
 (17) a 《北京人在纽约》
 b 『ニューヨークの北京人』

多くの本のタイトルでこの傾向を見ることができる。発表者の手元にある教科書や本の

タイトルをいくつか挙げることにとどめておく。これも一貫して日本語は連体修飾の構造をとっている。

- (18) 『表現する中国語』 楊凱榮 白帝社
- (19) 『語感を磨く中国語』 楊凱榮 NHK 出版
- (20) 『もつとのばせる中国語』 楊凱榮 金星堂
- (21) 『漢語からみえる世界と世間』 中川正行 岩波書店
- (22) 『日本人の間違えやすい中国語』 張起旺著 児玉充代訳 国書刊行会

一方、中国語では形式上は連体修飾節の形ではなく、いずれも述語形式が使用されている。

- (23) 《学汉语》 吴叔平主编 北京语言文化大学出版社
- (24) 《汉语可以这样教》 赵金铭主编 商务印书馆
- (25) 《什么时候说什么》 商务印书馆
- (26) 《怎样写好英文书信》 (how to write letters) [美] 吉姆·道格 中国大百科全书出版社

7.3 コト的かモノ的か

このような違いは動詞による連体修飾節にとどまらず、形容詞や名詞による連体修飾にも見られる。

- (27) 四季を通じて魅力満載の高尾山 新宿から約 50 分 (京王電鉄車内広告)
高尾山 一年四季魅力无限, 由新宿出发约需 50 分钟 (京王電鉄車内広告)
- (28) カツオを豚豚風にアレンジした絶妙な一品 (google)
- (29) 長野県小川村の農家、萱津寿津子さんの家に伝わる伝統製法・味付で造った、ごはん
に合う絶妙の一品 (google)

寺村秀夫(1992)では装定(Junction)は静的な映像で、絵画のようなものであり、述定(Nexus)は動的な過程であると指摘している。坪本篤朗(1999)ではト書きの一つの形式として連体修飾節を取り、場面の状況を描写し、登場人物の行為や場面や状況のイメージを描きやすくしてくれると指摘している。井上優(1999)では日本語の「いい天気だ」のような体言締めを取り上げ、中国語ではこのような体言締め文が用いられることが基本的にないと言う。次のような体言締めの文は中国語では一般に述語形式で言語化される。

- (30) a きれいな山。
?b 真漂亮的山。
c 这座山真漂亮。
- (31) a きれいな景色だね。
?b 真漂亮的景色。
c 这儿的景色真漂亮。
- (32) a 靴を磨く少年
b 靴磨きの少年

c 擦皮鞋的少年

d 少年擦皮鞋

(33) a 北京へ行く飛行機

b 北京行き飛行機

c 飞往北京的飞机

d 飞机飞往北京

なお、山梨正明(1995)は次のような例をあげ、一般に修飾に関し日本語では名詞句的な内心構造の装定の表現になるところが、英語では命題的な述定の表現になる傾向があると指摘し、日本語は「モノ的」、英語は「コト的」という。

(34) 起きたばかりの私が彼を誘って湯に行った

[I had just gotten up, and I invited him along for a bath.]

(35) 落ち葉ですべりそうな胸突き上りの木下道だった。

[The road wound up through a forest, so steep now that climbing it was like climbing hand-over-hand up a wall.]

杉村博文(1994)では、日本語の「私はあなたの踊りをみるのが好きだ」と中国語の「我喜欢看你跳舞」をあげ、日本語をモノ的、中国語をコト的という。また同じくモノとコトを好む表現として、以下の中国語と日本語の違いを挙げている。

(36) 玫瑰花虽好看，但是有刺儿

きれいなバラにはトゲがある

劉丹青(2010)では中国語と英語の違いとして、中国語は「動詞型言語」、英語は「名詞型言語」であるという。英語はさておき、日中両言語に関して言えば、さしずめ以下のような図式が成立するといえる。

【表 3】

コト的	モノ的
中国語	日本語

かの有名な大江建三郎のノーベル文学賞の受賞演説のタイトルと川端康成のノーベル文学賞の受賞演説のタイトルも連体修飾の形である。その中国語訳はそうはなっていない。

(37) a 曖昧な日本の私

b 我在暧昧的日本

(38) a 美しい日本の私

b 我在美丽的日本

8. 終わりに

8.1 結論

日本語で連体修飾節が多用される原因及び中国語との違いについては少なくとも以下の要因が関わっていることが分かった。

1. 論理関係の明示回避（非主要述語の背景化）の違い
2. 人称代名詞の違い
3. 対比、焦点、定と不定の問題
4. 主語選択の問題
5. 視点制約の違い
6. テンス・アスペクト
7. 名詞化の違い
8. 文末述語の機能の違い
9. モダリティの問題

なお、日本語と中国語の連体修飾におけるこのような相違は膠着語である日本語と孤立語である中国語という言語の類型論的な観点からも考察すること可能である。堀江薫、ブラシャント・パルデシ(2009)では同じ膠着語に属する韓国語においても名詞化が多用される傾向があるということを指摘したうえで、韓国語と比べて、日本語のほうが名詞化構文の拡張機能、語用論的な富化の傾向がより強いという。

8.2 将来の課題 日本語の連体修飾対中国語の結果補語

日本語では連体修飾語は多用されるが、それに対して、中国語では結果補語が多用される傾向にある。つまり、連体修飾節では寛容でない中国語は結果補語に関しては、寛容性があり、動詞と補語との多様な関係を示すことができる。日本語では複合語だけ対応しきれない場合が多く、自動詞による結果だけを述べる文を用いるか、あるいは二つのイベントとして複文を用いて対応せざるを得ない。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| (1) 吃多/少了。 | 食べ過ぎた/(食べたが,) 少なかった(足りなかった) |
| (2) 吃饱了。 | お腹がいっぱいだ。 |
| (3) 吃腻/烦了。 | 食べ飽きた |
| (4) 吃累了。 | (食べていて) 疲れた/食べるのに疲れた。 |
| (5) 吃胖了。 | 食べすぎて、太ってしまった。 |
| (6) 吃穷了。 | 食費にお金を使いすぎて貧しくなった。 |
| (7) 吃坏了肚子。 | (食事で) お腹を壊した。 |
| (8) 吃出了毛病。 | (食事で) 病気にかかった。 |
| (9) 喝出了将军肚子。 | 飲みすぎてビール腹になった。 |
| (10) 吃出了高血压。 | 食事で高血圧になった |
| (11) 吃出了新花样。 | (食べているうちに) 新しい食べ方を発見した(開発した)。 |

- (12) 这个药把病吃好了。 薬で病気が治った。
(13) 洗干净了。 きれいに洗った。
(14) 洗脏了。 洗ったがかえって汚くなった。
(15) 洗小了。 洗ったら縮まった。
(16) 洗湿了鞋。 (洗い物をしていて) 靴が濡れてしまった。

主要参考文献

- 阿部泰明(1994)「連体修飾の諸問題」田窪行則編『日本語の名詞修飾表現』くろしお出版
池上嘉彦(1981)『「する」と「なる」の言語学』大修館書店
井上優(1999)「体言締め文と「いい天気だ」構文」『日本語学』1月号 明治書院
上原聡(1999)「名詞化と名詞性」『日本語学』1月号明治書院。
大島資生(2010a)『日本語連体修飾節構造の研究』ひつじ書房
大島資生(2010b)「接続節に近い意味合いをもつ連体修飾節」『連体・連用を考える』ひつじ書房 20周年記念シンポジウム 2010年12月19日, 学習院大学
加納希美(2013)「“的”を伴う時量修飾構造のシンタクスと意味」『木村英樹教授還暦記念中国語文法論叢』
神澤克徳(2012)「外の関係を中心とした日本語連体修飾の分析」『言語処理学会』第18回年次大会発表論文集
木村英樹(2002)“的”の機能拡張——事物限定から動作限定へ『現代漢語研究』第4期 朋友書店
金水敏(1986)「連体修飾成分の機能」『松村明教授古稀記念国語研究論集』明治書院
久野暉(1978)『談話の文法』大修館書店
下地早智子(2013)「中国語の連体修飾節の構造と意味—日本語との対照を通じて—」第33回中日理論言語学研究会 発表レジュメ
杉村博文(1994)『中国語文法教室』大修館書店
坪本篤朗(1999)「モノとコトから見た文法」『日本語学』1月号 明治書院
寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味』くろしお出版
寺村秀夫(1992)『寺村秀夫論文集 I』くろしお出版
原由起子(1991)「“有・N・VP”構造に於けるNとVPの関係」『中国語学』238号 日本中国語学会
古川裕(1989)“的s”字结构及其所能修饰的名词,《语言教学与研究》第1期。
堀江薫、ブラシャント・パルデシ(2009)『言語のタイポロジー』。研究社
益岡隆志(1994)「名詞修飾節の接続形式—内容節を中心に」田窪行則編『日本語の名詞修飾表現』。くろしお出版
益岡隆志(1995)「連体節の表現と主名詞の主題性」, 益岡隆志、野田尚史、沼田善子編『日

- 本語の主題と取り立て』。くろしお出版。
- 益岡隆志(2009) 「連体節表現の構文と意味」, 『言語』2009年1月号。
- 増田真理子(2001) 「〈談話展開型連体節〉—「怒った親は子どもをしかった」という言い方—」, 『日本語教育』109号。日本語教育学会。
- 松本善子(2007) 「フレームの統合——日本語の複合名詞句構造——」, 『言語学諸相』赤塚紀子教授記念論文集 久野暲、牧野成一編。くろしお出版。
- 水谷信子(1985) 『日英比較 話し言葉の文法』くろしお出版
- 山田留里子(1999) 『日中両国語の連体修飾に関する比較研究』。北京大学出版社。
- 山梨正明(1995) 『認知文法論』ひつじ書房
- 楊凱榮(2001) 「“没有东西吃”と“没有吃的东西”の違い」, 『中国語』。内山書店。
- 楊凱榮(2011) 「日中連体修飾節の対照研究」, 第2届汉日对比研讨会。黑龙江大学。
- 楊凱榮(2018) 『中国語学・日中対照論考』白帝社
- 方梅(2008) 由背景化触发的两种句法结构——主语零形反指和描写关系从句, 《中国语文》第4期。
- 贺阳(2008) 《现代汉语欧化语法现象研究》。商务印书馆。
- 刘丹青(2010) 汉语是一种动词型语言, 《世界汉语教学》第1期。北京语言大学出版社。
- 刘月华 潘文娉 故韦华 (2001) 《实用现代汉语语法》增订本 商务印书馆
- 陆丙甫(2000) 汉语的“的”和日语的“”的比较《现代中国语研究》第1期 朋友书店
- 孙海英(2009) 《汉日动词谓语类非限制定语从句对比研究》。黑龙江人民出版社。
- 陶红印(2002) 现代口语叙述体关系从句结构的语义篇章属性, 『現代中国語研究』第4期。朋友書店。
- 朱德熙 (1985) 《语法问答》。商务印书馆。
- Wang, Horie and Pardeshi(2009) Wang, Luming, Kaoru Horie, and Prashant Pardeshi 2009. Toward a Functional Typology of Noun Modifying Constructions in Japanese and Chinese: A Corpus-Based Account. In: Inagaki Shunji et al. (eds.) *Studies in Language Sciences* 8. Tokyo: Kurosio publishers, 213-228.